

温かな雰囲気づくりに向けた取組を柱とした活動プラン

時期	形態	主題	内容	備考
クラス の 落 ち 着 き が な く な っ て き た と 感 じ た と き			<p><クラス内の人間関係に上下関係が見られたり、周囲の状況を理解せず自分勝手な発言や行動が見られたりした際に実施する></p>	
	授業1	立場を替えて感じてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 立場によって物事の捉え方や感じ方に差があることに気付く 集団生活がいろいろな立場から成り立っていることを知り、相手の立場になって考える (道徳性、規律性、思いやり・他者理解) 	<p>立場の違いによって物事の捉え方や感じ方に違いがあることを知ることで、現在のクラスの状態が学級全員にとってよりよいものであると言えるかを問いながら、相手の立場に立って物事を捉えたり感じたりすることの大切さに気付けるように議論を促す</p>
	授業2	救える自分になろう	<ul style="list-style-type: none"> ネットいじめを題材にしながら、学級内で弱い立場にある生徒への支援方法を具体的に考える 自分一人の力で一人の人間を救える可能性があることを実感する (道徳性、思いやり・他者理解、コミュニケーション能力) 	<p>【授業1】を振り返らせながら、いじめの被害者という弱い立場にある人を救うにはどうしたら良いかを具体的に考えさせることで、現在のクラスの雰囲気に声を上げることができない状況と同様であることを示唆する</p> <p>どうすれば弱い立場の人を救えるかを話し合うことで、実際にその立場の人が声を上げることの難しさについて議論し、周囲の人が声をかけることの大切さについて実感を伴って理解できるよう意識させる</p>
授業3	あなたに聴いてほしい	<ul style="list-style-type: none"> 悩んでいる人がどのように話を聞いて欲しいかについて、悩みを打ち明ける人の立場になって考える 悩みを相談しやすい温かな雰囲気とは何かを考える (相談支援を求める力、思いやり・他者理解、コミュニケーション能力) 	<p>【授業2】を振り返らせながら、「大きな悩みを抱えている人」の立場になって、どのように話を聞いて欲しいかをイメージさせる</p> <p>個人で考えた順位付けを基にダイヤモンド・ランキングという手法を用いて、グループの合意形成を図らせる</p> <p>合意形成には、少数派の意見に耳を傾けたり、相手の意見を受け入れたりすることが必要となるため、グループで協働的に協議をすることになり、意見を出し合いながら相手の立場を尊重し合えるような雰囲気を意識させる</p>	
			<p><日常的に生徒を観察したり、個別に関わったりしながら、クラスの雰囲気の変化を注意深く見守る。クラスの雰囲気に変化が見られない場合は、必要に応じて【授業3】を実施する></p>	

(授業の概要)

番号	授業名	授業の概要	主な資料等
授業1	立場を替えて感じてみよう	<ol style="list-style-type: none"> ①ワークシートを黙読後、グループ内で意見をまとめる ②他方のワークシートを黙読し、結果が変わることを確認する ③自分ならどうするかをグループ内で話し合う ④振り返りと感想を書く 	<p><ワークシート></p> <ol style="list-style-type: none"> ①タケルの立場 ②ミカの立場 ③運転士の立場
授業2	救える自分になろう	<ol style="list-style-type: none"> ①ネット上のいじめを知る ②事例の子想される状況を発表する ③今後の行動について考える ④周りの人はどうすれば救えるのかを考える ⑤自分にできることを考える 	<p><ワークシート></p> <p>「救える自分になろう」ワークシート</p>
授業3	あなたに聴いてほしい	<ol style="list-style-type: none"> ①悩みがあるときの対処法を発表する ②聴いてほしい聴き方の順位付けを行う ③ダイヤモンド・ランキングで合意形成を図る ④グループ同士で交流し、自分の考えをまとめる ⑤相談できない人がいることを知り、感想を書く 	<p><ワークシート></p> <ol style="list-style-type: none"> ①聴き方の順位付け ②ダイヤモンド・ランキング用カード <p><資料></p> <p>相談の状況</p>